

# 厚生福祉


 時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社  
 昭和28年5月30日 第3種郵便物認可  
 毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)  
 購読料金 税抜月額4,100円  
 本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。  
 ©時事通信社2016  
 ◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)  
 kousei-dokusha@jiji.com

## 目次

## スウェーデン人は人間か

スウェーデンが高福祉国家として「青い鳥」の如く日本で認識されるようになったのはいつ頃からであろうか。

戦後間もなく日本人は自国の敗戦と荒れ果てた国土に照らしてスウェーデンを平和と繁栄の国として仰ぎ見た。ナポレオン戦争以来国土を戦場にせず繁栄を享受した国である。

その後1960年代以降スウェーデンに辿り着いた者たちが、著名な社会民主党パルメ首相の長い統治時代に冷戦構造の中でベトナム戦争に反対し、かつ公共セクター中心の福祉国家構築に感銘を受け日本に向けて次々に発信していった。

しかし90年代の世界的金融危機と冷戦崩壊の中

## 元・駐スウェーデン・渡邊芳樹 特命全権大使



で、金融から社会保障までハードランディングの大改革を実現するスウェーデンに今度は新自由主義市場経済学者たちが賞讃の声を上げると、これまでスウェーデンを賛美してきた福祉関係者の間にイメージの混乱が広がった。

しかし、スウェーデン人が変わったわけではない。時代に合わせた変容を恐れずに荒波を乗り切る強靱(きょうじん)にしたたかき、その中に変わらぬ本質を見ることが彼らに対する真の理解と尊敬であろう。

2011年ダボス会議のスウェーデン政府資料「北欧の流儀(The Nordic Way)」は、06年のベストセラー「スウェーデン人は人間か」という本のダイジェストであった。いわくスウェーデンの

政策の中心は「個人の自律と社会的職業的流動性の最大化」であり、その基本には個々人がお互いに頼り合わないという愛の理論がある。過激なまでの個人主義と社会への強い信頼というパラドックス、国家個人主義という国是こそが個々人が自信をもって現代社会の要請に現実的妥協をする経済的低移行コスト社会を形成しているとする。

こうしたアピールをする姿には、諸外国から「スウェーデン人は人間か」という声が出てきそうだが、内省的なスウェーデン人らしくそれを逆手にとり、実際自分たちは経済も政治も最も上手くやっていると主張する自信を感じさせる。

こうした基本を押さえれば、どんなに国民性が違っても学ぶべき点がある。